

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	地域医療再生臨時特例交付金		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～25年度		担当課室	指導課 医師確保等地域医療対策室		室長:平子哲夫		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「地域医療再生計画について」(平成21年6月5日)、「平成21年度地域医療再生臨時特例交付金の交付について」(平成21年6月5日)、「平成23年度(平成22年度からの繰越分)地域医療再生臨時特例交付金の交付について」(平成23年5月9日)、「地域医療再生計画にかかる技術的な助言について」(平成23年5月9日)、「地域医療再生基金管理運営要領の一部改正について」(平成24年2月24日)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域の医師確保や救急医療の確保等、地域における医療課題の解決を図るため、当交付金を交付して都道府県に基金を設置する。従来の病院毎(点)への支援ではなく、都道府県が策定する地域医療再生計画に基づく対象地域全体(面)への支援を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	二次医療圏を基本とする地域において、地域医療再生のための事業を、地域の実情に応じて自由に決定する(但し、医師確保事業は必須)。箇所数は一都道府県毎に2地域(全国94地域)で、各地域25億円を交付する(合計2,350億円)。また、平成22年度補正においては、三次医療圏を基本とする地域において、地域医療再生のための事業に対して支援をするため、2,100億円(15億円×52箇所、加算額1,320億円)を措置。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	310,000					
		補正予算	▲ 75,000	210,000				
		繰越し等		▲ 210,000	210,000			
	計	235,000		210,000				
	執行額	235,000	-	210,000				
執行率(%)	100.0%	-	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	平成25年度を目途に、被災地における医療提供体制の再構築を図るものであることから定量的指標の設定は困難		成果実績	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	地域ごとに、それぞれの医療課題の解消を図るものであることから定量的指標の設定は困難		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-	
				-	(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成24・25年度予算内訳	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	-	-	-					
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的 状況・予算 の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における医師確保や救急医療体制の整備は、国民の生活を守る上で重要な課題である。 ・国として、地域の医療提供体制の整備を支援する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・補助率等については、各県において設定することとなるが、事業によっては、被災状況等を考慮して、事業者負担を課している。 ・都道府県が策定する「地域医療再生計画」に基づき、交付額を決定しており、被災県においては、同交付金を基に「地域医療再生基金」を造成し、「地域医療再生計画」に定められた事業の実施に活用するため、交付金も目的に即した用途に限られるものである。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県は自ら策定した「地域医療再生計画」に基づく事業に活用できるため、医療課題の解消に向けて実行性の高いものとなっている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	-		
	-		
予算監視・効率化チームの所見			
-			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	74	平成23年行政事業レビュー	0062

厚生労働省
210,000百万円

(地域医療再生事業のための基金の設置)



【補助】

A. 都道府県(47か所)
210,000百万円
(補助額1位:岩手県12,000百万円)

[地域の医師確保や救急医療の確保等などのための基金の設置]

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

A.岩手県			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補助金等	基金事業への積み増し	1,200			
計		1,200	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岩手県	地域医療再生事業のための基金の設置	12,000		
2	宮城県	地域医療再生事業のための基金の設置	12,000		
3	福島県	地域医療再生事業のための基金の設置	12,000		
4	北海道	地域医療再生事業のための基金の設置	11,396		
5	長野県	地域医療再生事業のための基金の設置	8,602		
6	茨城県	地域医療再生事業のための基金の設置	8,314		
7	愛知県	地域医療再生事業のための基金の設置	8,122		
8	千葉県	地域医療再生事業のための基金の設置	6,628		
9	兵庫県	地域医療再生事業のための基金の設置	6,011		
10	三重県	地域医療再生事業のための基金の設置	5,980		